

平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	631-03-01				
事務事業名			世界文化遺産登録推進連絡会議事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名			市長公室 世界文化遺産推進室		連絡先	内線4402		
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	歴史・文化			款	2	総務費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり			項	1	総務管理費
						目	5	企画費
対象(誰を・何を)			①羽曳野市民・藤井寺市民 ②国内外からの来訪者					
目的(どうしたいか)			①古市古墳群の認知度向上及び地元の更なる機運醸成 ②来訪者の効率的・効果的な受入体制の整備など					
手段(事業内容)			古市古墳群のPRを行い、地元の更なる機運醸成を図っている。 また、スムーズに国内外からの来訪者を受け入れるため、関係機関との協議や調整を図る。					

事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		345	350
人件費		4,429	4,444
総事業費		4,774	4,794
うち市負担分		4,774	4,794

28年度決算主な内訳
PRグッズ(タオル、Tシャツ等)の作成 350千円
ウォーク&クリーン 105千円
※なお、上記の事業費は連絡会議における総事業費であり、本市の負担割合は1/2である。

活動指標

指標名	同会議開催回数(回)		
指標の説明	来訪者対策や地元企業や市民に対する案件などが積み重なり会議の案件や開催数が増える。		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		1	3

参考数値

成果指標

指標名	もずふる応援隊の団体隊員数(羽曳野市受付分)(人)		
指標の説明	藤井寺市、羽曳野市内で活動する団体が発起人となり、世界文化遺産登録に向けた地元の機運醸成を図るため、設立された「もずふる応援隊」の団体隊員数(累積)		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		122	200

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 羽曳野市・藤井寺市にまたがる古市古墳群は、堺市にある百舌鳥古墳群とともに、平成31年の世界文化遺産登録をめざしている。 地元でのPRイベントの開催をはじめ、もずふる応援隊に加入している企業・団体によるグッズ販売などの取組みを通じ、地元の機運醸成は図れていると考える。 今後も、もずふる応援隊との連携を図りながら、更なる機運醸成を図りたい。 また、来訪者対策については、平成31年度の世界文化遺産登録にむけ、駐車場や駐輪場などのハード整備などの必要性の検討など、2市で連携して取り組んでいく必要があることから、拡充・重点化すべきと考える。

平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	631-03-02				
事務事業名			世界文化遺産登録推進本部会議事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名			市長公室 世界文化遺産推進室		連絡先	内線4402		
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	歴史・文化			款	2	総務費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり			項	1	総務管理費
						目	5	企画費
対象(誰を・何を)			百舌鳥・古市古墳群					
目的(どうしたいか)			百舌鳥・古市古墳群を世界文化遺産に登録する					
手段(事業内容)			<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府、堺市、藤井寺市と羽曳野市の4者にて、ユネスコへ提出する推薦書・包括的保存管理計画の作成。 ・国内外での機運醸成活動の実施 					

事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		5,451	5,830
人件費		3,691	3,703
総事業費		9,142	9,533
うち市負担分		9,142	9,533

28年度決算主な内訳
推薦書及び包括的保存管理計画作成費 21,937千円
首都圏PRに係る費用 24,772千円
※なお、上記の事業費は本部会議における総事業費であり、本市の負担割合は1/8である。

活動指標

指標名	同会議の開催回数(回)		
指標の説明	民間企業をはじめ、様々な団体との連携事業を実施した件数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		14	20

参考数値

成果指標

指標名	ウェブサイトアクセス数(セッション数)(回)		
指標の説明	本部会議において作成しているウェブサイトのアクセス数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		57,435	60,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 百舌鳥・古市古墳群については、平成29年7月31日に国内候補に選定されたことを受け、平成31年の世界文化遺産登録をめざしている。 今後は、9月までに暫定版、来年1月頃には正式版の推薦書をユネスコに提出し、来年のイコモスの現地調査を経て、世界文化遺産への登録となる。 本事業については、平成31年の世界文化遺産登録に向け、来訪者対策の検討など今後更なる事業連携を図りながら進める必要があることから、拡充・重点化すべきと考える。

平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	631-04-01			
事務事業名			周知啓発活動事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名			市長公室 世界文化遺産推進室		連絡先	内線4402	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち			会計	1 一般会計
	施策	3	歴史・文化			款	2 総務費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり			項	1 総務管理費
						目	5 企画費
対象(誰を・何を)			市民ほか				
目的(どうしたいか)			市民への百舌鳥・古市古墳群の認知度向上及び更なる地元の機運醸成				
手段(事業内容)			イベントでのPRをはじめ、古市古墳群などの映像を活用しながら更なる認知度向上及び地元の機運醸成をはかる。				

事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		18,500	6,756
人件費		9,597	9,628
総事業費		28,097	16,384
うち市負担分		13,004	16,384

28年度決算主な内訳
古市古墳群空撮映像作成 8,500千円 百舌鳥・古市古墳群を紹介する ガイドンス映像用ソフト作成業 務 4,000千円 もずふるレンタサイクル事業に 係る経費 749千円

活動指標

指標名	世界遺産PR動画制作本数(本)		
指標の説明	ドローンを使い上空から古墳を撮影。古墳ごとや学校別にPR動画を制作する(H29~)		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		0	70

参考数値

成果指標

指標名	世界遺産PR動画閲覧回数(回)		
指標の説明	羽曳野市公式YOUTUBEチャンネルにアップした動画の閲覧回数(H29~)		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		0	10,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 藤井寺市、羽曳野市内で活動する団体が発起人となり、世界文化遺産登録に向けた地元の機運醸成を図るため、設立された「もずふる応援隊」の活動などを通して、地元の機運醸成は図られつつある。 ただし、平成31年の世界文化遺産登録に向け、更なる地元の機運醸成は図られる必要があると考え、拡充・重点化すべきと考える。

平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	631-04-02				
事務事業名			花畑整備事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名			市長公室 世界文化遺産推進室		連絡先	内線4402		
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち			会計	1	一般会計
	施策	3	歴史・文化			款	2	総務費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり			項	1	総務管理費
						目	5	企画費
対象(誰を・何を)			羽曳野市民・国内外からの来訪者					
目的(どうしたいか)			応神天皇陵古墳外濠外堤を花畑として環境整備を行い、市民、来訪者の憩い、学びの場所として活用する。					
手段(事業内容)			花畑の管理(除草・清掃など)を行い、花の見ごろなどの情報を発信する					

事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		9,760	2,320
人件費		9,597	9,628
総事業費		19,357	11,948
うち市負担分		19,357	11,948

28年度決算主な内訳	
工事請負費	8,275千円
管理委託料	1,328千円
消耗品(石灰ほか)	157千円

活動指標

指標名	花の本数(本)		
指標の説明	花畑にまいた種の数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		100,000	100,000

参考数値

成果指標

指標名	古墳動画視聴数(羽曳野市You Tubeチャンネル)(回)		
指標の説明	花畑前に設置した説明看板に貼付しているQRコードの動画視聴回数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		59	150

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 百舌鳥・古市古墳群については、平成29年7月31日に国内候補に選定されたことを受け、平成31年の世界文化遺産登録をめざしている。 今後は、来訪者が増えることが予想され、古墳を始め憩い、学びの場、見学できるスポットとして整備、花畑を継続して行うことから、現状維持と考える。